

令和7年度 第2回 まちで暮らすネットワーク～地域生活支援部会～ 定例会議事録（HP用） 【グループホーム交流会】	
日 時	令和7年7月10日（木）13：30～15：10
開催場所	かるがも館3F 保土ヶ谷区社協・多目的研修室
出席者 （敬称略）	【参加者】保土ヶ谷支援ネットワークの会、きてん GH、ふれんど45、エターナル GH2名、RJ ソーシャルケア横浜4名、夢21 ホーム4名、恵和 GH、ワイズ・インフィニティ・エイト2名、偕恵いわまワークス3名、あさひ、反町福祉機器センター、ポート葦、光風会 GH、西区基幹相談、保土ヶ谷区基幹相談2名 【事務局】夢21、区高齢障害支援課（知的身障／精神）、基幹相談、恵和青年寮（副部会長）、きてん（※今回は GH 側で参加）、生活 SC（部会長）
欠席者	十愛病院、光風会 GH、RJ ソーシャルケア横浜
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ 非公開
議 題	【役割分担】 駐車券対応：区 CW、書記/タイムキーパー：保土ヶ谷区基幹 受付：保土ヶ谷区基幹、会場設営：事務局全員、各グループ(ホスト)：夢21、恵和、保土ヶ谷区基幹、区 CW、生活 SC 【参加者の内訳(事務局を除く)】 ・ GH 関係者 20 名（お声掛けした 26 法人中、12 法人がご参加くださいました） ・ GH20 名のうち、管理者/役職者 14 名・世話人 6 名でした。 ・ GH 以外の参加 2 事業所（西区基幹相談、反町福祉機器センター） ***** (1) あいさつ、ルール説明 13:30～13:37 ※部会長より ・ 令和7年度第2回「まちで暮らすネットワーク 地域生活支援部会」 【本日のテーマ】＝グループホーム交流会 ●事前アンケートへのご協力ありがとうございました。 集計結果を報告 （1 事業所 3 択まで） ①利用者支援 6 ②家族支援 2 ③通院や病院との連携。医療的ケア 6 ④金銭管理や手続き支援 1 ⑤スキルアップ 2 ⑥支援の工夫 6 ⑦チーム連携や相談先 3 ⑧地域連携推進会議 4 ⑨どのテーマでも 7 ●グループワークはワールドカフェ方式でおこないます。【ルール説明：基幹】 ＊ルールは5つ （※ホワイトボードにルールを掲示） 1. 参加者との対話を楽しむ 2. 発言している人の意見をきちんと聞く

3. 質問して対話を広げる
4. 他人の意見を否定しないで受け入れる
5. テーマを意識する

- * 「ご希望のテーマ」のグループに参加してください。
各テーブルのホストがテーマを掲げています。
- * グループの椅子の数は決まっています。
- * 1 テーマ 20 分で 2 回の席交換があります。
合図が出たら、別グループに移ってください。

- 【テーマ① 利用者について】＝ホスト 恵和
- 【テーマ② 医療について】＝ホスト 区
- 【テーマ③ 共有したい支援の工夫】＝ホスト 生活 SC
- 【テーマ④ チーム連携や相談先】＝ホスト 夢 2 1
- 【テーマ⑤ 地域連携推進会議】＝ホスト 基幹相談

(2) ワールドカフェ 13:37～14:45 (68分)

- 13:37～14:00 ターン1 (移動時間 込み)
- 14:00～14:23 ターン2 (移動時間 込み)
- 14:23～14:45 ターン3

※タイムキーパーは残り 2 分になったら予告をしてください。 時間になったら、タイムキーパーより、次のテーブルへ移るよう 促してください。(移動時間は 2 分です)

※ターン2、ターン3の冒頭で、ホストはどんな意見が出ていたか、ごく簡単に新しく来た参加者に話してから、議論をはじめてください。

(3) 参加者感想 14:45～14:50 (5分) 進行:基幹

3 名の参加者 (GH 職員) の感想。

- ・ GH を越えて共通の悩みがあることが分かって安心した。
- ・ ホームに持ち帰れるような、支援のヒントが得られた。
- ・ 支援を行う中での困難を共有できたのがよかった。

(4) セッション共有 14:50～15:05 (15分) 進行:部会長

※各グループのワークシートは別添資料。以下、各ホストによるまとめ

(1G) 利用者について

【全般的なこと】

- ・テーマを色々話すというよりも。このグループでは3回のセッション共に、1つの話題を深掘りする形で進行し、盛り上がった。

【利用者の支援上の悩み】

- ・入所施設から GH への移行ケースの話があり、支援の困難さを感じた。
- ・喫煙をする利用者へのルール設定の難しさ。
- ・虚言をする利用者への対応。嘘と分かっているけど受容は大事
- ・本人の希望にどこまで寄りそうかが悩み
- ・金銭管理
- ・利用者同士の恋愛について

【支援のポイント】

- ・日々の支援の際に、先読みする意識が大事ではないか
- ・逆に言えば、生活の場面では想定外のことが多々起きる。なるようになるという心構えも大事では？ リスクも見越しての支援をしているのだから、結果として想定外になっても、その結果を受け止めながらまた支え方を考えるのはどうか。

【労務管理】

- ・職員の勤務時間外の管理（生活の場を支援する中でキッチリ時間を区切りづらい）

【連携】

- ・ヘルパーと計画相談、GH 職員の間での役割分担をしている。

(2G) 医療について

【支援上の悩み】

- ・通院同行を支援する難しさ。同行するかしないか
- ・薬にまつわる悩みも多く聞かれた。インシュリン注射が必要な方。麻薬が必要な方もいる。

【家族との関係性】

- ・家族に対して、どこまでお願いできるか。逆にどこまでは GH で頑張るのか線引きが難しい。

【支援の工夫】

- ・通院同行は難しくても、逆に訪問診療や訪問看護を組み合わせるニーズに対応。ただ、緊急対応では課題あり。

【その他】

- ・看取り（ターミナル）について。最後まで看ることはなかなか難しいが、退去のタイミングや声掛けもまた難しい。
- ・災害時の服薬問題。予備薬がふだんからあるわけではなく、準備をどう進めればよいか悩み

⇒この件は防災部会にぜひ、GH 支援者からの問題提起として挙げてもらいたい

(3G) 支援の工夫について

【取り組んでいる工夫】

- ・ホーム内の環境整備。

遮光カーテンの代わりに手近な材料で窓を目張りし、眩しさを改善。

新聞を読むことに強いこだわりがあり次の行動に移れない方に対して、

思い切って新聞の購読を止めたことで本人も気持ちが楽になった。

- ・コミュニケーションの工夫

アンガーマネジメントを取り入れるなど、コミュニケーションが難しい方に対しての関わり方を模索中。

入居者同士の関係性を活用し、他の入居者からの情報をご本人とのコミュニケーションに生かしている。

- ・同行支援の負担軽減

本当に同行が必要か、観察して見極める。ご本人とのコミュニケーションを大切に、お一人ですでるはずと伝える。

関係する機関で役割を分担。同一法人内で交互に担ったり、往診や訪問看護を利用して GH 職員に負担がかかり過ぎないようにしている。

- ・高齢化に対する工夫

高齢の方には、毎日の声掛けを必須とした。

入居時点で、職員が声掛けしやすい位置（事務所近く）の部屋を充てた。

- ・日中活動を増やすことで健康状態の改善を期待。

日中活動とホーム内ではご本人の様子が異なるためアセスメントが深まることにもつながった。

(4G) 連携について

【連携の悩み】

- ・GH は日中事業所とのやりとりが多い。

そういう利用者に対して、計画相談を間に挟んでやりとりするのが良いのか、計画を通さずに直接、サービス事業所とやりとりしてしまってもかま縄いのか。作法が良く分からない。

- ・世話人会議を定期開催しているが、世話人どうして意見がまとまらず、困っている。逆に少人数でのコア会議が必要なのだろうか。

- ・特に支援に困難さを抱える利用者を相手にする場合、チーム員同士の、本人へのアプローチや障害理解が異なるので、チーム作りは本当に難しい。

(5G) 地域連携推進会議について

【会議の目的について】

- ・会議の目的をどう考えるかについて話し合った。

- ・地域向けの障害理解、ホームの人たちも地域の事を知り相互理解の場。

【会議のスタイルについて】

- ・他 GH で実際に取り組んでいる方法として、地域住民を招いてんバーベキューをやったり、花火大会をする中で、地域住民に向けてホームの事や利用者を知ってもらう機会にしているホームがある。
- ・1つのホームだけでなく、複数のホーム（法人をまたいでも OK）と連携して推進会議を行なうことも可能ではないか？そうすれば、ホーム同士のネットワーク強化にもつなげることが出来る。
- ・災害時や緊急時に法人の垣根や地域住民との垣根を越えて助け合えるようにするためのツールとして、地域連携推進会議が使えるといい。

(5) 告知など 15:05～15:10(5分)

進行：部会長

【各参加者からの PR】

- ・リビットハウス横浜より、同法人の他ホームでの空き状況について
- ・反町福祉機器支援センターより、センターの機能について

【次回予告】 部会長

9月11日(木) 13:30～ 保土ヶ谷区役所 202 会議室

「まちで暮らす」をテーマに事例検討を行います。

★以下、事務局の皆様へ★

事務局会議 8月14日(木) 15:00～16:30 場所：ゆめボランティアルーム